

平成23年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)			内部評価者名 課長・室長・支所長	勝目 吉昭	
事務事業名	英語力向上プラン事業(英語検定試験受験料助成)		担当者	児玉 恭子	
所管部課名	教育部 学校教育課		事業の根拠 (根拠法令)		
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	幼児教育・学校教育等の充実
				施策 (項)	地域特性を活かした学校教育の推進
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	教育総務費		目	教育振興費
	事項	教育育成費		細事項	教育育成費

事業の概要

市内全域の生徒の英語力向上を図るため、市内全中学生に英語検定試験の受験を促し、年3回実施のうち第2回、第3回の2回を対象として、受験料を補助する。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を,何を対象とする事業か)	市内中学生		事業開始年度		平成18年度	
	手段 (市がどのような活動をするか)	英語検定試験受験料補助	活動指標 (市として何を 行うか?)	指標名	英検受験料補助回数		
				最終目標値	英検受験率		
				最終年度	年2回		
				最終年度	98%		
	意図 (どのような目的で 事業を行うか)	市内全域の生徒の英語学習への意欲・ 関心を高め、英語力を高める。	成果指標 (活動をした上 で、目標となる 成果をどのよ うに設定する か?)	指標名	平成26年度		
最終目標値				平成26年度			
最終年度				英語検定4級合格率			
最終年度				基礎・基本定着度調査通過率			

  

コスト・ 指標の 推移	項目	単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 (見込み)	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)
	事業費	国・県支出金	千円	0	0	0	0
その他		0		0	0	0	0
一般財源		6,452		5,972	6,179	6,179	6,179
合計(A)		6,452		5,972	6,179	6,179	6,179
	従事職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費(B)	千円	800	800	800	800	800
	従事嘱託員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0
	トータルコスト	千円	7,252	6,772	6,979	6,979	6,979
	活動指標の推移	回/年	2	2	2	2	2
%		96.6	97.3	97.5	97.8	98	
	成果指標の推移	%	61.1	64.6	69	72	75
%		66.1	69.1	70	71	72	

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

英語検定試験受験料補助

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	<b>対象・手段の妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 英語検定試験は、全国共通の指標と問題により実施されるもので、実用性も高いため、生徒たちの英語力を図るには適切な試験であり、合格に向けての取組と合否結果は生徒たちの学習意欲の喚起につながるものとする。
	<b>市が関与すべき妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 市全体の英語力向上を図るためには、市が全面的に関与すべきである。また、中学校3年生レベルとされる3級の受験料が2300円であり、各家庭保護者の経済的負担も少ないため。
効率性	<b>事業費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 昨年度は補助対象者に制限を設け、受験料補助回数を減らし、本年度は、補助対象級の数に制限し、削減を試みているので、これ以上の削減は難しい。
	<b>人件費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 担当者一人で行っているため削減は難しい。
有効性	<b>成果の達成度</b> <input type="checkbox"/> かなり高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 英語検定試験の受験率が、上がりつつあり、ほぼ100%に近い数字となってきていることから、英語学習への意欲・関心は高まりつつあると言える。 また、4級の合格率、「基礎・基本」定着度調査の通過率ともに向上しつつあり、英語力も高まりつつあると言える。 これらのことから、成果は上がっていると考え。
	<b>成果の向上余地</b> <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 学校における英語の指導法改善や受験級選択等の事前指導の改善を図れば、成果の向上の余地がある。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	<b>今後の改革の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	<b>上記方向の理由</b> 本事業は、着実に成果を上げ、本市の生徒の英語学習への意欲・関心の高揚、英語力の向上につながっている。本年度は第3回検定の補助対象級を中学校卒業レベルの3級までに限定し、予算を縮小した。学校や家庭の事業継続への要望も強く、これ以上の予算削減や事業廃止は難しいため、現状のまま継続したい。
	<b>改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画</b> 学校における英語の指導法改善や受験級選択等の事前指導の改善を図るため、中学校英語担当者の学習指導法研修会を実施する。
内部評価 (二次)	<b>評価者名</b> _____
	<b>内部評価結果</b> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	<b>今後の改革の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <b>上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分)</b> ・ 成果の検証と事業継続の必要性についての検討